

【参加者 A】

歩道の除雪対策をもう少し考えていただけないでしょうか。

釧路のまちの一回の降雪量はさほど多くないのですが、除雪車が歩道に雪を積み上げていくので、歩道の雪が凍ってしまいます。高齢者などには大変危険です。

市だけで全てやっていくのは大変なことだと思うので、例えばいくつかの町内会に一つくらいの割合で除雪機を支給するなど、町内会等地域との連携を取りながら、歩行者を優先した除雪対策を考えるべきだと思います。

【都市整備部長】

まず、市の除雪体制についてご説明いたします。

市内を6ブロックに分けて、147社の企業にご協力をいただきながら除雪体制を取っております。

昨年、車道は4回除雪に入りまして、歩道については6回、通学路や病院等公共施設を中心にして行いましたが、すべての歩道を除雪するのはなかなか難しいのが現状です。

年に2回、町内会の役員などの皆様で構成する除雪連絡協議会の中で、業者の方と昨年度の反省点などの協議をしております。先程、町内会との連携をしながらの除雪についてご提言をいただきましたが、その席の中でも、研究してまいりたいと考えております。

【参加者 A】

歩道に入れる除雪機は小型でありパワーがありません。時間が経過し凍ってしまうと除雪が非常に困難になります。車道にはグレーダーなどのしっかりとした重機が入るので、優先すべきはどちらかをお考えいただきたいと思います。

【市長】

どちらを優先するという話については、いろいろと相談させていただきながら、通学路などについては歩道の除雪を行っていかうという形で進めております。ただ、釧路は寒冷地であるため、降った雪の凍結がネックになっており、安全性を確保するために、まず砂利散布を優先して進めております。

町内会との連携についてですが、例えば札幌市などを例にとってみると、市が除雪するのは幹線道路だけであり、中通りなどは地域の方々が業者に委託する等して除雪を行うという仕組みが成り立っております。

釧路市の場合こういった仕組みができるかを考えたときに、先程ご説明した6ブロックのそれぞれのセンターと町内会との連携が考えられないか、というのは、検討しているところです。

【参加者A】

高齢化していく住民の生命を守るという意識を行政の中で高めていくべきではないかと思います。やりくりをして除雪をするというだけではなく、経済が遅れたとしても、住民が安全に暮らせるようにしていただきたいと思います。

【市長】

安全性の確保は重要だと考えています。一方で、市民の税金をどういったところに使っていくかを考えたときに、さまざまなバランスを考えなければならないと思っています。限られた予算を使いきながら、どこまでできるのかということ相談しながら進めていきたいと思っています。

【参加者B】

中央公園についてです。いたずらが多く、壊れているところが多く見られます。中でも、地面に置いてある照明が壊れたまま一年以上そのままになっていますが、どのようにする考えなのかお聞かせください。

また、遊具も壊れて事故が起こり使用中止になってから一年以上経っているが、どのようにするつもりなのかお聞かせください。

もう一点、夏場に道外からキャンピングカーで来て、公園の駐車場に止めているが、見た目にも悪いので何とかしてほしいのですが。

【都市整備部長】

現状を確認して早急に対応したいと思います。

【参加者C】

鳥取1号公園にあるテニスコートが、使えなくなり封鎖されてから10年近くなるが、周辺にある防護柵が腐食して倒れ掛かっており非常に危険な状態になっています。

また、周りに駐車場がないので道路に駐車する人が多いが、危険なので何とか駐車場を確保できないものかと考えており、使っていないテニスコートの敷地を利用して駐車場にできないかという要望を10年程前に出しましたが、あくまでテニスコートとして作ったので駐車場にはできない、という返答のみでした。再検討していただけないでしょうか。

【市長】

補助金を活用している場合、補助金の返還などの課題も出てくることもありますので、そういった場合は難しい場合もありますが、変えられるものは変えて、現実に即した形にしていくべきだと思います。

後程、担当課にて確認のうえ、ご連絡します。

【参加者D】

鳥取3号公園のトイレが一年半程度使用禁止になっています。市に聞いたところ、屋根が崩れてきているので使わないでほしいとのことでした。利用していた方も多いので是非使用できるようにしていただきたいと思います。

【都市整備部長】

現在、公園の長寿命化計画を作成しており、その関係で先立って皆様にもご説明させていただいておりますが、公園の維持管理には補助金が適用できず、財源の捻出が困難であるため、150ある公園の中で、各ブロックの中で核となる公園66カ所については遊具の更新等、整備を充実していき、それ以外の公園については基本的に現状のまま維持管理をしながら、設備が壊れたときには廃止することを中心に管理していこうと考えております。

【市長】

鉦路市はかつて人口25万人まで増えるという見込みでまちづくりを進めていきました。しかしながら、現在は人口が減少してきており、現状のものを昔のまま維持するということが負担になっていきますので、見直しをしていかなければならないと考えています。

公園の里親制度などで公園の維持管理にご協力をいただいている地区などもあると思いますので、そういった視点についても含めながら見直しを進めていきたいと考えております。

【参加者E】

ハザードマップについてです。

今回、昭和小学校が新たに避難施設に入っていますが、昭和小学校は耐震改修をしていないと聞いていますがなぜ避難施設になったのでしょうか。

【市長】

学校については平成27年度までに全て耐震改修が完了する予定で進めておりますので、その予定で避難施設に入れていきます。PFI等を活用しながら早急に進めてまいりたいと考えております。

【参加者E】

地震はいつくるかわかりませんので、早急に耐震改修をしていただきたいと思います。

【参加者F】

私たちの地区には元気な退職者が多くいます。市の方からも逆に「自分たちのことは自分で」と要望があってもいいと思います。

【市長】

ありがとうございます。

市の方もできないことはできないと認めないといけないと思います。市民の皆様のお力をお借りしながら一緒にまちづくりを進めていくことが非常に重要だと考えております。皆様とご相談しながらそういった仕組みを作っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。